

《これからの精神障害者福祉を考える》

第1部：映画『夜明け前』

心を病んだ人々は、なぜ閉じ込められねばならないのか？精神の病とは・・・、人間の尊厳とは・・・、今突きつけられる問いかけ！

呉秀三（くれしゅうぞう）は、今から百年前の時代に東京大学医学部精神科の教授として、異例の社会的な取り組みを進めた先達者である。彼は精神疾患の人々が「座敷牢」に押し込まれる実情を憂い、その解決のために奔走した。その土台となった報告書『精神病者私宅監置ノ実況及び其統計的観察』を1918年に提起し、多方面へ働きかけた。それから1世紀の年月が過ぎた今、精神障害者の問題はどうなっているのだろうか？

企画：藤井克徳、監修：広瀬徹也、監督：今井友樹、プロデューサー：中橋真紀人

<出演>岡田靖雄（「青柿舎」【精神科医療史資料室】代表）、藤井克徳（きょうされん専務理事）他

<ナレーション>竹下景子 <撮影協力>青柿舎、東京都立松沢病院、大岩山日石寺 他

<バリアフリー版制作>Palabra 株式会社

第2部：基調講演『夜明けを迎える一助として』 講師：藤井克徳氏（きょうされん専務理事）



1949年福井県生まれ。元々弱視で、40代後半から全盲状態。1982年に都立小平養護学校（現在の都立小平特別支援学校）教諭を退職し、小平市での共同作業所「あさやけ」づくりに参加。現在は、日本障害フォーラム副代表、NPO法人日本障害者協会代表、きょうされん専務理事、日本精神衛生会理事等。2010年～2014年内閣府障がい者制度改革推進会議議長代理・障害者政策委員会委員長代理。近著に、「わたしで最後にしてーナチスの障害者虐殺と優性思想」（合同出版）

第3部：藤井克徳氏、門田 晋氏、青山正二氏による鼎談（ていだん）



門田 晋氏

精神保健福祉士 特定非営利活動法人 むげん理事長 射水市社会福祉協議会会長

地域住民として、障がいがあっても年老いても住み慣れた地域であたりまえに安全に暮らしていくために、行政や関係者、地域が連動していく仕組みが必要と切実に感じ、特定非営利活動法人「むげん」を設立することにしました。（2017.6.25 障害フォーラム in とやまより）

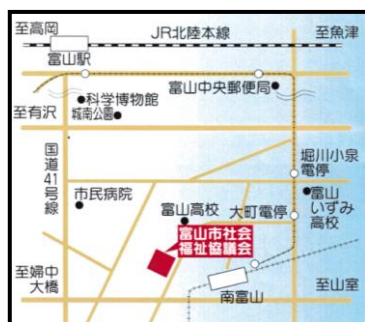


青山正二氏

特定非営利活動法人 富山県精神保健福祉家族連合会理事長

精神障がい者が地域で活動するには、精神障がい者に対する意識や、啓発が進むことが条件になる。長期入院がなくなるためには、家族を含めた社会的支援がまず必要。富山県の差別解消条例の周知や、心のバリアを取り除く視点、当事者や家族によるピアサポート活動等が大切である。（2018.8.4 障害フォーラム in とやまより）

会場 富山県総合社会福祉センター（富山県今泉 83 番地の 1 階）TEL076-422-3400・Fax491-2433



会場は南富山駅から徒歩4分。
駐車場が狭いのでできるだけ公共交通機関で来て下さい！整理券をご利用ください。無くとも無料で参加できます。

主催：富山障害フォーラム（TDF）の構成団体

一般社団法人富山県身体障害者福祉協会、一般社団法人富山県手をつなぐ育成会、社会福祉法人富山県視覚障害者協会、社会福祉法人富山県聴覚障害者協会、特定非営利活動法人富山県精神保健福祉家族連合会、富山県障害者（児）団体連絡協議会